

『地球を歩く、木を植える』

Celebration Earth
Walk

2009/3/20~9/21

北海道~沖縄

日本縦断徒歩、
植樹の「里旅」

- 0. 中溪宏一の紹介
- 1. 旅のルート
- 2. 具体的な行動プラン
- 3. サポーター募集！

SEEDMAN 

0-0. ポール・コールマン



Earth Walker Paul Coleman

From Manchester

世界中を歩いて木を植える英国人
ポール・コールマン

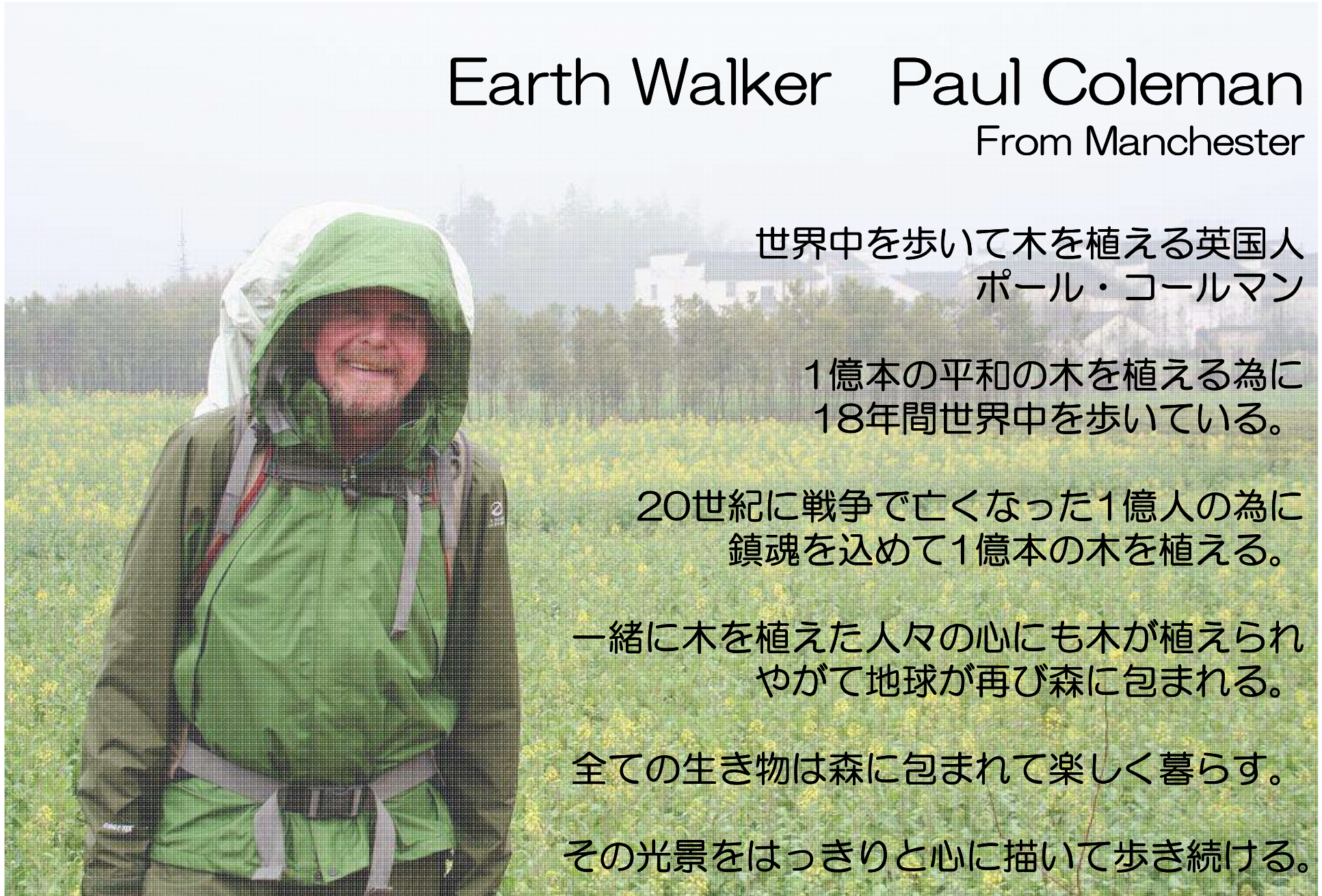
1億本の平和の木を植える為に
18年間世界中を歩いている。

20世紀に戦争で亡くなった1億人の為に
鎮魂を込めて1億本の木を植える。

一緒に木を植えた人々の心にも木が植えられ
やがて地球が再び森に包まれる。

全ての生き物は森に包まれて楽しく暮らす。

その光景をはっきりと心に描いて歩き続ける。



0-1. 自己紹介



中 溪 宏 一
Nakatani Koichi

1971年シアトル生まれ鎌倉育ち



地球上の何処に居ても
生きていける人間になりたい

大学卒業後、総合商社へ就職
6年間勤務した商社を退社

地球上の何処にいても生きていける人間になりたい
そんな思いから世界放浪の旅へ

自然こそが地球の財産
地球の大半の人は昔ながらの自然に即した生き方をしている
旅が続くにつれ、そんな思いが募る

南アフリカで、世界中を歩いて木を植える英国人
ポール・コールマン氏に出逢い
2003年6月から「地球を歩いて木を植える」活動始める



0-2. 活動履歴

■2003年2月～2004年6月

環境活動家のポール・コールマン氏と共に、
南アフリカ、ジンバブエ、ザンビアを徒歩で縦断、植樹活動。

■2004年6月～2004年12月

ポール・コールマン氏と共に富士山～広島～長崎での徒歩、植樹活動。

■2005年6月～2005年12月

ポール・コールマン氏と共に沖縄諸島での徒歩、植樹活動。

■2006年1月～2006年4月

沖縄県与那国島～東京間を徒歩、植樹活動。
(アースデイ・フレンドシップウォーク2006)

■2006年7月～2007年4月

北海道宗谷岬～東京までの徒歩、植樹活動。
(アースデイ・フレンドシップウォーク2007)

■2007年10月～2007年11月

群馬県長野原町～東京までの徒歩、植樹活動。
(土と平和の祭典：種まきアースウォーク)

■2008年～現在

日本各地の小学校での植樹活動



0-2. 活動履歴



講演活動（日本各地80箇所）

- ・木を植えること
- ・歩くこと

の楽しさ大事さを伝えています。



総植樹本数：1,500本

総歩行距離：5200km

総植樹箇所：160箇所

- ・小学校
- ・公園
- ・個人宅
- ・旅館
- ・ホテル
- ・道の駅
- ・地域で管理する里山等

（参考サイト：Panasonicエコスクール:2008年8月）

<http://club.panasonic.jp/fun/open/nc/eco/special/05/index.do>

0-3. 旅の仲間 あかちくん



Photo by Paul Coleman

明石敬史 AKASHI Takafumi
1981年神奈川生まれ
法政大学土木工学科修了

大学在学中にポール氏に出逢う

歩いて木を植える土木人を
目指して歩くことを決意

以来、ポール&中溪両氏の活動を師事

地球を歩き、木を植え始める
同時に髭を伸ばし始める

2007年より法政大学エコ地域デザイン研究所に入所

地球を歩いて木を植えるマップコンシェルジュとして
環境活動と地図づくり、実測調査、国内外研究に従事

2008年から東京都小金井市で都市型体験農業開始
てづくりは「おいしい」ことを再認識

2009年は、歩いて木を植える地図製作者を目指す

0-4. 「地球を歩く、木を植える」とは？



「自然こそが地球の財産」

頭で分かっているけど、なかなか体で感じることが出来ない

歩く

研ぎ澄まされた五感で歩いて
その土地のことを感じる

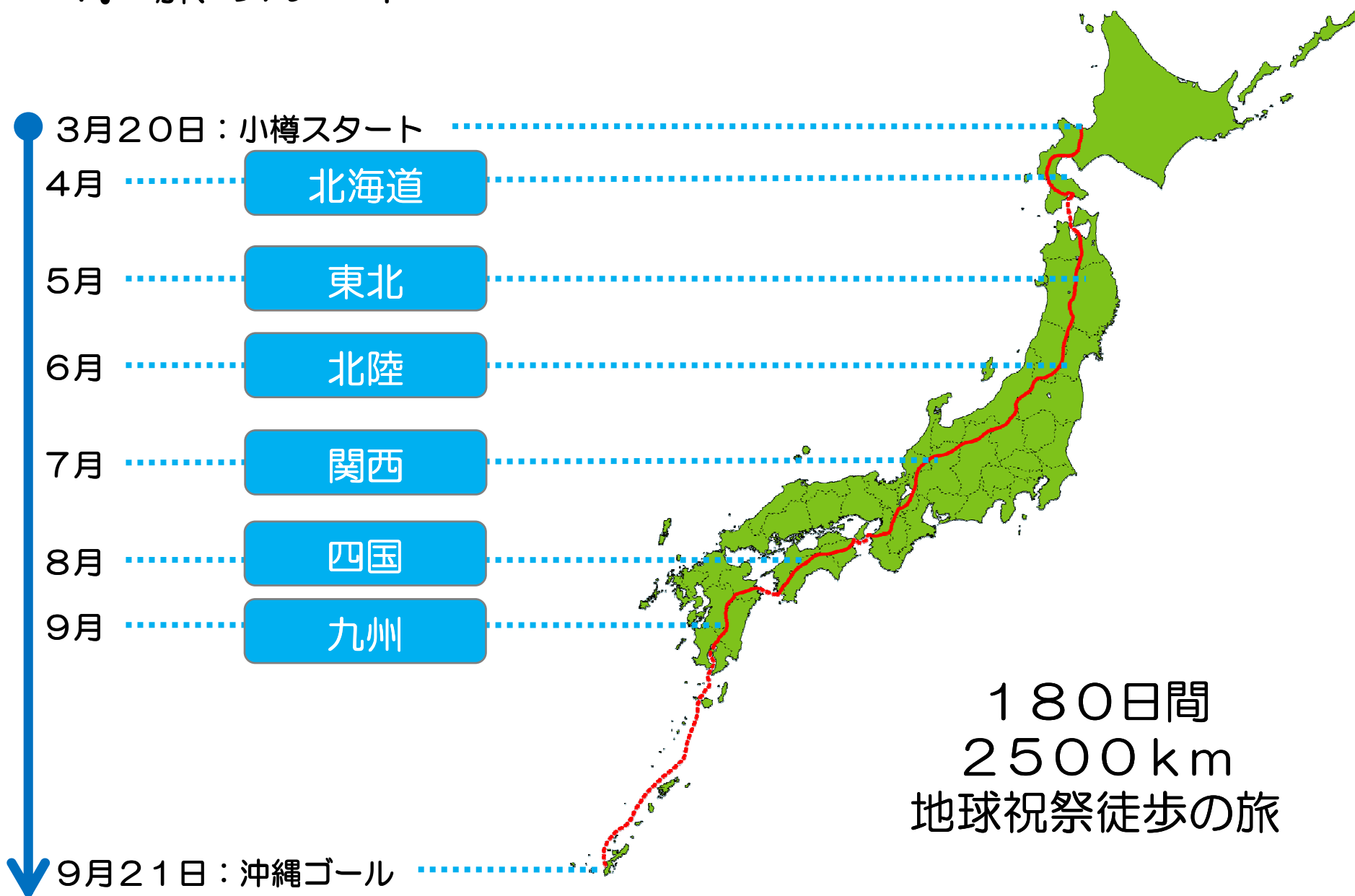
木を植える

感謝の気持ちを含めて
歩いた土地に木を植える

その土地の自然、人の営みに感謝の気持ちが生まれ
「地球に感謝する気持ち」が呼び覚まされる

このシンプルでダイレクトな行動を通して
人間誰もが持っている
「自然こそが地球の財産」という気持ちを呼び覚ます

1. 旅のルート



180日間
2500km
地球祝祭徒歩の旅

1. 旅のルート

なぜ沖縄に向かって歩くの？

Celebration Earth

9月21日は、国連が定める国際平和の日

国連認定機関の親善大使であるポール・コールマン氏と共に

沖縄から世界に向けて地球平和宣言をしよう。

国際平和デーの日だけに平和を祝うのではなく、4月から9月までの6ヶ月間、誰でも自由に参加出来る、平和を祝うキャンペーンを開催。



Celebration Earth Walk

Celebration Earthの一環として行うウォーク

(Celebration Earthサイト：<http://celebrationearth.ning.com/>)

9月21日にはウォークで出逢った皆さんと

一緒に沖縄で「地球平和宣言」を実施。

2. 行動計画

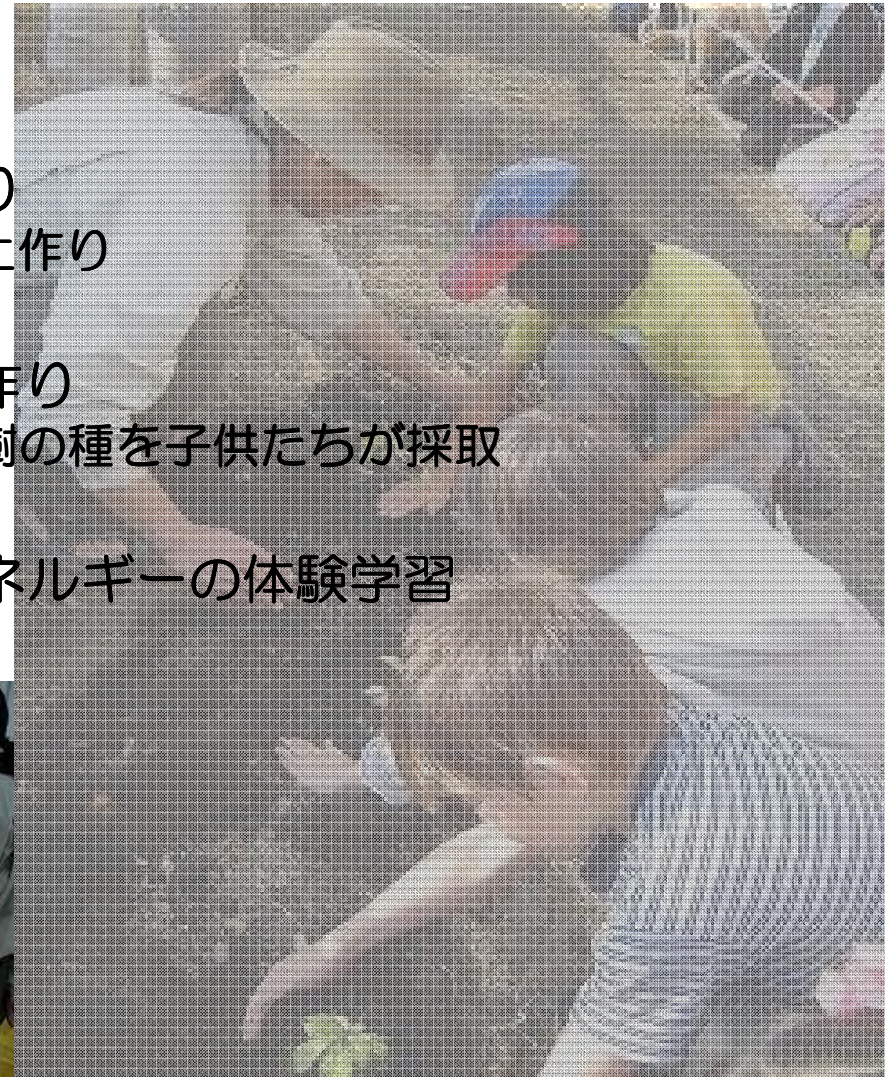
小学校で環境学習の特別授業を開催

○校庭での環境防災林の植樹

○ベランダ、校庭の一部を使っでの畑作り
給食、台所から出る生ゴミリサイクルによる土作り

○ベランダ、校庭の一部を使っでの苗木作り
種は地域に自生するドングリ、ナラ等の広葉樹の種を子供たちが採取

○ソーラークッカー等を使っでの自然エネルギーの体験学習



2. 行動計画

小学校の敷地をぐるりと囲む環境防災林造り

地域の避難場所である小学校の敷地を照葉樹主体の防災林で囲む



2. 行動計画

小学校の敷地をぐるりと囲む環境防災林造り

照葉樹

- 葉が密生
- 葉が厚い
- 多肉質で水分が多い

タブの木一本、消防車一台
「火防木（ひふせぎ）」

防災林

阪神大震災でも
一列の照葉樹が
マンションを
火の海から守った



災害に強い地域づくり

2. 行動計画

小学校から始まる持続可能な社会創り

2009年

歩いて通る小学校でやること

- 校庭での植樹活動（環境防災林創り）
- ポット苗づくりの指導
- 生ゴミリサイクルによる畑作り指導
- 自然エネルギー体験教室
- 手前味噌作り教室
- 地域の長老のお話会

5年後

2014年

全国の小学校で

- 小学校の敷地を囲む環境防災林が完成
- 近くの山から採取した種での苗木作りが定着
- 給食、家庭から出る生ゴミリサイクルによる畑作りが定着
- 自分達で育てた苗木を使っでの地域の里山作りが始まる
- 自然エネルギーの活用が定着

2. 行動計画

小学校から始まる持続可能な社会創り

小学校から地球が変わる

土に触れて、自分の学校の校庭に木を植える、畑を作る。



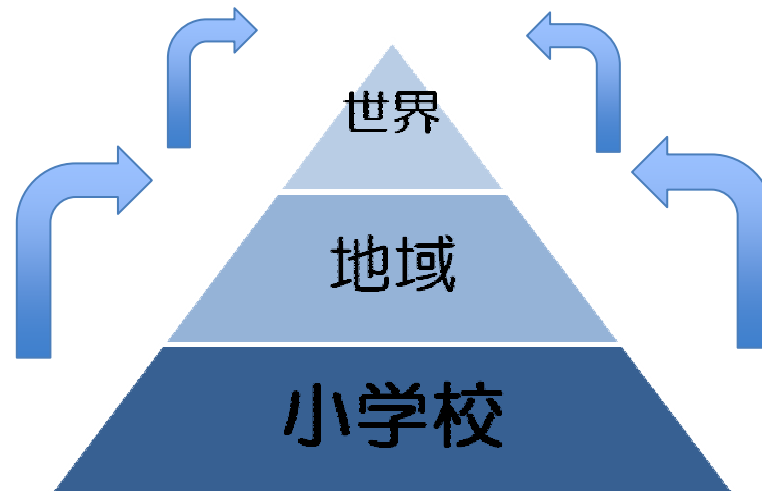
子供達が木を植える、畑を作る楽しさ、大切さを体感



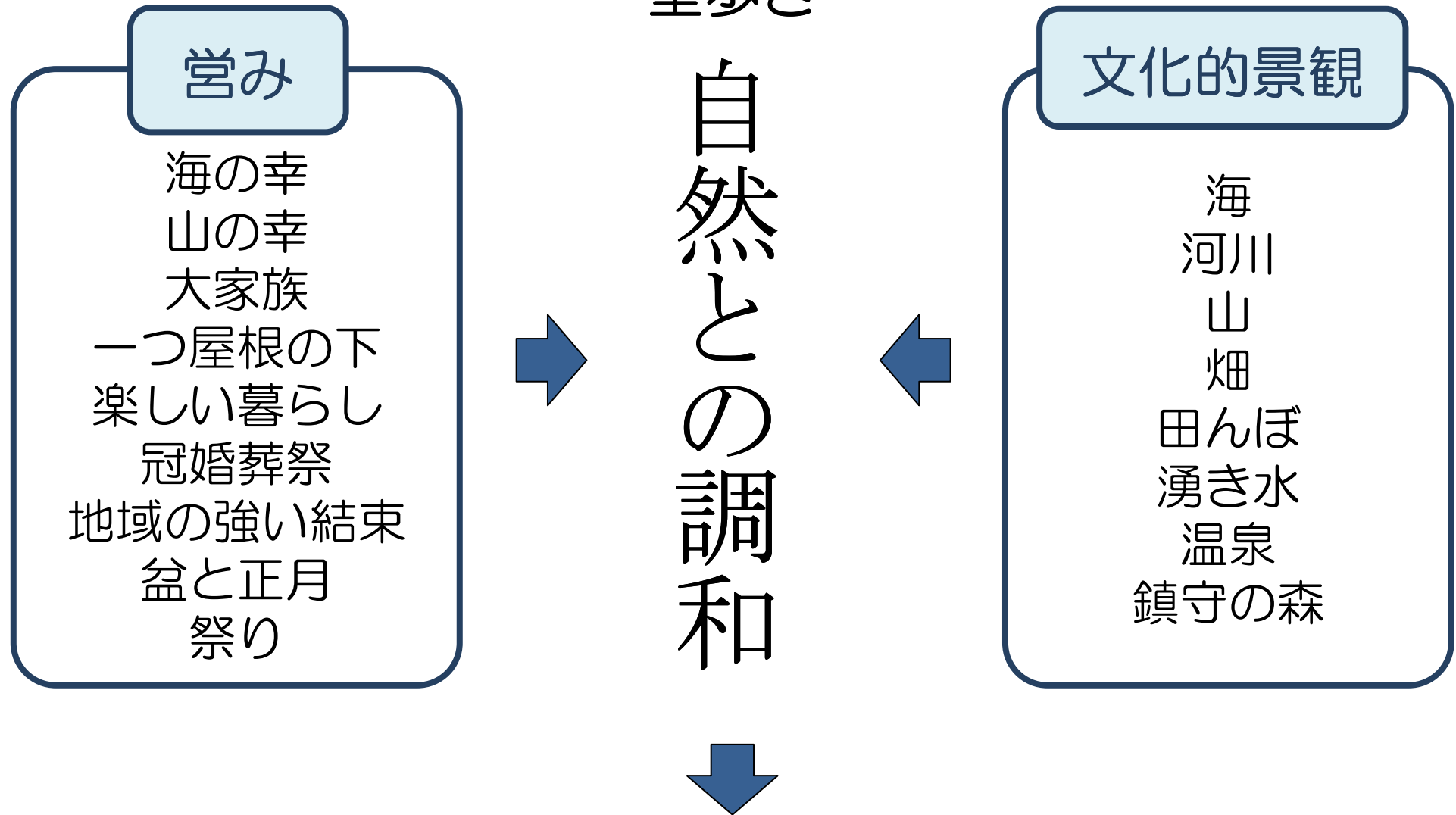
地域から世界

親から地域

子供から親



2. 行動計画



朝日新聞主催「にほんの里100選」を縦断的に訪問

2. 行動計画

里の暮らしを体験、その魅力を発信



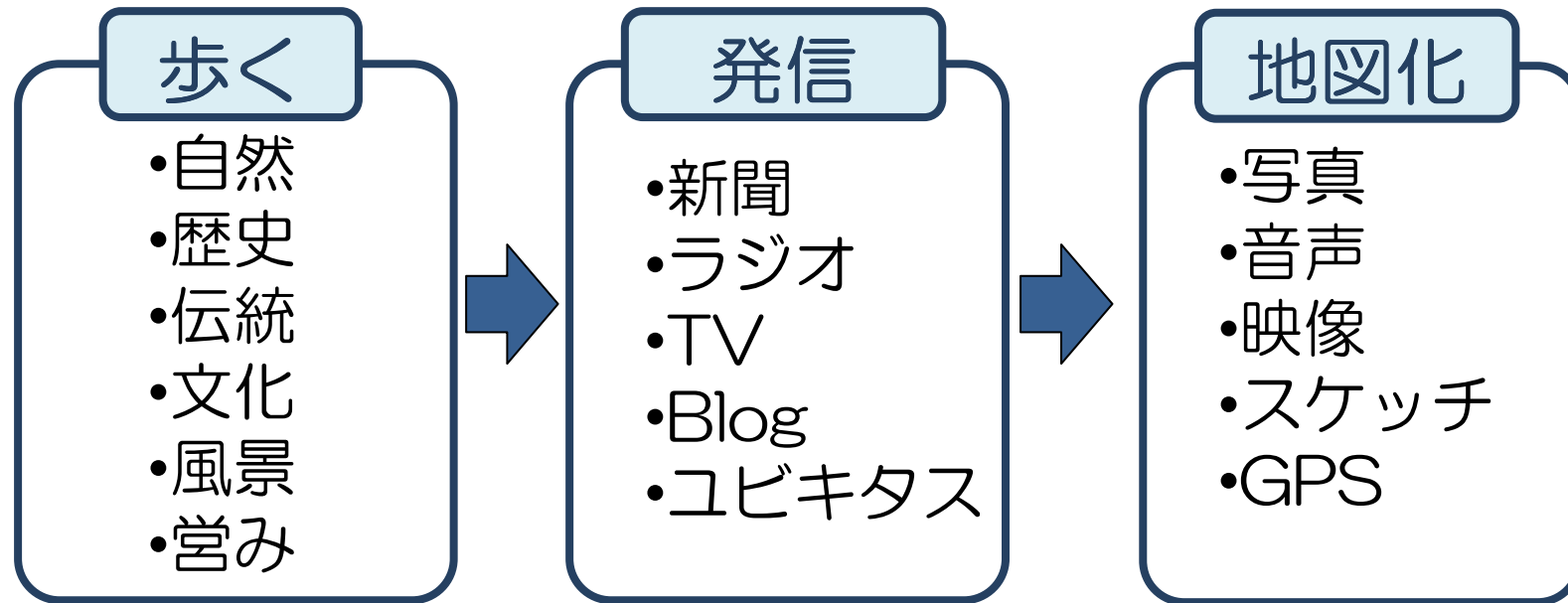
一つ屋根の下に3世代が住む大家族



昔ながらの里の営み

2. 行動計画

足で集めた、生きた情報満載の
「歩く日本地図」サイトづくり



地球との対話

日本の豊かな自然、文化を国内
外に紹介する「歩く日本地図」

サイト

「ニッポン歩き旅」の活性化

2. 行動計画



ラジオ番組

(東京FMの全国39局ネットと連携予定)

スポンサー企業を募集しています。

長老万歳

2. 行動計画

ラジオ番組: 長老万歳



テーマは

温故知新

お爺ちゃん、お婆ちゃんから自然と共に生きる智慧を授かる

核家族化が進み、老人は施設で余生を過ごすニッポン

そんな今だからこそ、消え行く長老の智慧を
しっかりと受け継いで行きたい

2. 行動計画

ラジオ番組: 長老万歳



番組構成

番組構成10分~15分の番組。週一回 or 月一回の特番

長老に訊く

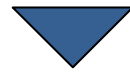
土地の昔話
生い立ち
伝説(?)



小学校で
子供達にお話

里音

伝統芸能
祭り
温泉音
湧水音
河川音



土地の環境音
サウンドスケープ

今日の一曲

サウンドスケープを
使った環境音楽。

3. こんなサポートを探しています。



今回の旅に一人でも多くの方が参加してくれることを望んでいます。

皆さん、一緒に地球を歩いて、木を植えましょう！

そして、こんなサポートも大募集です！

苗木

伴走車

植樹場所

メディア

食料

講演

宿泊





地球を歩く、木を植える」事務局

080-3022-1684 / seedman333@gmail.com

www.seedman333.org

(歩く人)

KAZ.(事務局長)

中溪 宏一

渡邊賢一(副事務局長)

中溪 亜衣

正田哲也

中溪 一心

瀬田久

明石 敬史

栗城史人

山口 浩之

宮川 哲

林 優樹

山本 奈緒

砥上 淳

成田 実穂